

第1章 緑の効果について

ここでは、市街地での緑の効果について説明します。

1 心理的な効果

(1)豊かさや安らぎ感の向上

人工構造物で覆われた都市空間に潤いをもたらし、生活に豊かさや心理的な安らぎ感を与える効果があります。

(2)園芸療法

病院や福祉施設などで園芸療法の一環として活用できます。

(3)環境教育

身近で気軽に自然と接することができ、環境教育の場として活用できます。

2 建物周辺環境の改善効果

(1)温熱環境の改善

植栽基盤^{※1}に含まれる水分の蒸発や植物の蒸散作用により気化熱が奪われることによる温度低減効果、緑陰などによる日陰形成効果、光の反射を抑えることによる照り返しの低減効果などがあります。

(2)騒音の低減

騒音を吸収又は反射し、減衰させる効果があります。

(3)防災

火災による延焼防止及び避難路の確保が期待できます。

3 都市環境の改善効果

(1)ヒートアイランド現象の緩和

構造物の蓄熱が減少し、人工排熱が低減されることにより、都市の気温上昇を抑制することができます。

(2)CO₂等の吸収、大気浄化など

温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)、大気汚染物質である窒素酸化物(NO_x)や二酸化硫黄(SO₂)を吸収するとともに、花粉、ちり、ほこりなどを吸着し、大気浄化の効果があります。

また、地球上で動植物が呼吸に不可欠な酸素(O₂)を放出しているのは緑だけです。

※1 植栽基盤

樹木や地被植物などの植物の生育基盤で、一定の厚みをもつ土壌等をいいます。

(3) 都市下水道の負荷低減

雨水の貯留と排出の遅延効果があり、都市下水道への負荷を低減します。

(4) 自然環境の創出

都市化により消失した自然を回復させるとともに、生き物の生息地を広げ、都市における生態系の回復が期待されます。

(5) 景観向上

建物や道路などの人工構造物で占められた都市環境において、緑の美しさや季節感が都市景観の向上に貢献します。

(6) 都市のアメニティの向上

景観や環境が改善されることにより、地域の快適性や地域への親しみが増すとともに、地域コミュニティの場としても活用でき、地域の価値の向上につながります。

4 経済的な効果

(1) 省エネルギー

夏季における室内や構造物自体の温度上昇の低減や年間を通じた断熱効果により、冷暖房にかかる消費電力の削減効果が期待できます。

(2) 建築物の保護

温度変化の緩和により耐久性が向上するとともに、酸性雨や紫外線による建物の劣化を抑制します。

(3) イメージアップ

企業などの社会的評価を高めるとともに、商業施設の集客力を向上させるなどの効果が期待できます。